

○りんご（殺虫剤）

[illegible]

○りんご（殺虫剤）

IRAC コード	有効成分名	薬剤名	ユキヤナギアブラムシ	リンゴミドリアブラムシ	カメムシ類	キンモンホソガ	キンモンハモグリガ	クワコナカイガラムシ	ケムシ類	リンゴハダニ	ナミハダニ	ハマキムシ類	シンクイムシ類	モモシンクイガ	ナシヒメシンクイ	リンゴワタムシ	ヒメボクトウ	オオタバコガ	備考
25A	シフルメトフェン	ダニサラバフロアブル								④	④								防除指針では「ハダニ類」を記載。
25B	ピフルブミド	ダニコングフロアブル								④	④								防除指針では「ハダニ類」を記載。
28	クロラントラニリブロール	サムコルフロアブル10				○	○	○				○	○						防除指針では「キンモンホソガ」、「ギンモンハモグリガ」、「ケムシ類」、「ハマキムシ類」、「シンクイムシ類」を記載。
																		○	防除指針では「オオタバコガ」を記載。
28	シアントラニリブロール	エクシレルSE				○													防除指針では「キンモンホソガ」を記載。
												○	○						防除指針では「ハマキムシ類」、「シンクイムシ類」を記載。
28	フルベンジアミド	フェニックスフロアブル											○						防除指針では「シンクイムシ類」を記載。
28	フルベンジアミド	フェニックス顆粒水和剤											○						防除指針では「シンクイムシ類」を記載。
28	テトラニリブロール	ヨーバルフロアブル										○	○						防除指針では「ハマキムシ類」、「シンクイムシ類」を記載。
3A/1B	フェンバレーレート／MEP	パーマテオン水和剤				○							○						防除指針では「キンモンホソガ」、「シンクイムシ類」を記載。
-	(Z)-10-テトラデセン酸7-オクト・(E、Z)-4、10-テトラデカノール7-オクト・(Z)-8-ドデセン酸7-オクト・(Z)-11-テトラデセン酸7-オクト・(Z)-9-テトラデセン酸7-オクト・10-メチルドデセン酸7-オクト・(Z)-9-ドデセン酸7-オクト・(Z)-9-ドデセン酸7-オクト・11-ドデセン酸7-オクト・(Z)-11-テトラデセン酸7-オクト・(Z)-13-イコセン酸10-オクト	コンフューザーA A				⑥								⑥	⑥				防除指針では「キンモンホソガ」、「モモシンクイガ」、「ナシヒメシンクイ」を記載。
-	(Z)-8-ドデセン酸7-オクト・(Z)-11-テトラデセン酸7-オクト・(Z)-9-テトラデセン酸7-オクト・10-メチルドデセン酸7-オクト・(Z)-9-ドデセン酸7-オクト・11-ドデセン酸7-オクト・(Z)-11-テトラデセン酸7-オクト・(Z)-13-イコセン酸10-オクト	コンフューザーN												⑥					防除指針では「モモシンクイガ」を記載。
														⑥					防除指針では「ナシヒメシンクイ」を記載。
-	(Z)-8-ドデセン酸7-オクト・(Z)-11-テトラデセン酸7-オクト・(Z)-9-テトラデセン酸7-オクト・10-メチルドデセン酸7-オクト・(Z)-9-ドデセン酸7-オクト・11-ドデセン酸7-オクト・(Z)-11-テトラデセン酸7-オクト・(Z)-13-イコセン酸10-オクト	コンフューザーR												⑥	⑥				防除指針では「モモシンクイガ」、「ナシヒメシンクイ」を記載。
33	アシノナビル	ダニオーテフロアブル								④	④								防除指針では「ハダニ類」を記載。

①コナカイガラムシ類、又はカイガラムシ類での登録。

②若齢幼虫での登録。

③モンシロドクガ、アメリカシロヒトリでの登録。

④ハダニ類での登録。

⑤ヒメシロモンドクガでの登録。

⑥果樹類での登録。

※ユキヤナギアブラムシ、リンゴミドリアブラムシ、リンゴコブアブラムシは、すべてアブラムシ類での登録。

（注）同名の剤であっても農業会社によっては登録内容が異なる場合があるので、使用する際は農業の容器（袋）のラベルを確認する。

○りんご（殺ダニ剤の使い方）

IRAC コード	薬剤名	希釈倍数	ナミハダニ			リンゴハダニ			注意事項
			卵	幼若虫	成虫	卵	幼若虫	成虫	
3A	アーデント水和剤	1000倍	△	○	○	△	○	○	①
6	コロマイト乳剤	1000倍	○			○			②
10B	パロックフロアブル	2000倍	○	○	×	○	○	×	① ③
12C	オマイト水和剤	750倍	×	○	○	×	○	○	④
13	コテツフロアブル	2000倍	○			－			⑤
20B	カネマイトフロアブル	1000倍	○			△	○	○	⑤
20D	マイトコーネフロアブル	1000倍	○			□			① ⑤
21A	ダニトロンフロアブル	1000倍	□			○			① ⑥
21A	ピラニカ水和剤	1000倍							① ⑥
23	ダニゲッターフロアブル	2000倍	○		×	○		×	⑤
23	エコマイト顆粒水和剤	2000倍	○		×	○		×	⑤
25A	ダニサラバフロアブル	1000倍	○			○			⑤
25B	ダニコングフロアブル	2000倍	○			○			
33	ダニオーテフロアブル	2000倍	○			○			⑦

○：効果あり △：効果がやや低い □：抵抗性の発達により効果低下の事例が多い ×：効果がない －：登録がない

①地域によっては効力低下が認められるので注意する。

②コロマイト乳剤は、8月以降に汎用性展着剤以外の展着剤を加用せず散布する（葉害）。本剤は残効がやや短い。

③パロックフロアブルは、ボルドー液散布前14日以上の間隔をあけて散布する。また、ボルドー液散布後は散布しない。

④オマイト水和剤は、8月以降に散布する。

⑤コテツフロアブル、カネマイトフロアブル、マイトコーネフロアブル、ダニゲッターフロアブル、エコマイト顆粒水和剤、ダニサラバフロアブルは、ボルドー液との散布間隔を前後14日以上あけて散布する。

⑥ダニトロンフロアブル、ピラニカ水和剤は同一系統とみなし、連用を避け年1回の散布とする。これらの剤は目に刺激性があるので、散布の際、目に入らないよう注意する。

⑦ダニオーテフロアブルは、銅剤との混用はさけ、本剤を散布した後に銅剤を使用する場合は10日以上散布間隔を空ける。また、銅剤を散布した後は本剤の使用をさける。

（注）同名の剤であっても農業会社によっては登録内容が異なる場合があるので、使用する際は農薬の容器や袋のラベルを確認する。